

(政) 買入れ予算盛る
8年度の増産実現予算 概算要求

自民党は先ごろ、東京・永田町で農林関係合同会議を開き、農水省が提示した令和8年度概算要求の主要事項を了承した。「米の需要に応じた増産実現予算」を前面に掲げ、①安心の基盤の再構築②生産意欲を支える政策強化③中山間地域等の安心の実現——を軸にしている。

①の安心の基盤の再構築では、「9年度の水田政策の見直し」をはじめ、▷新たな環境直接支払交付金の創設▷農業構造転換集中対策の実施——に加え、「状況に応じた備蓄米の買い入れ実施」を盛り込んでいる。

②の生産意欲を支える政策強化に向けては、「スマート農業の導入加速化」に加え、▷高温障害など気候変動に適応するための新品種への切り替えのあと押し▷先進技術（節水型乾田直播、ちよくは多収性品種、再生二期作など）の検証・開発・普及▷酒米生産への新たな支援▷米粉・パックご飯などの需要拡大・輸出拡大——などを挙げた。

③の中山間地域などの安心の実現では、▷9年度の新たな環境直接支払交付金の創設に向けた検討▷農業生産条件の実態に応じた支援（中山間地域等直接支払交付金など）▷省力化技術（節水型乾田直播など）の検証・開発・普及——を掲げている。

例年よりもコメを対象とした対策が目立つ。一般会計予算に「備蓄米の買い入れ」関係予算が盛り込まれているのも大きな特徴といえる。